

春秋時代末期の動乱の時代に生きた孔子は、世の中を正しく秩序あるものにしたいと考え、政治のあり方や人としての生き方を追求した。特に、すぐれた素質をもった人物は、学問・教養を積んでいっそう人格をみがき、社会のために政治を通じて奉仕する義務があると教えた。孔子より約百年後の戦国時代初期、やはり動乱の世に生まれた孟子は、孔子の教えを継承発展させた。かれは人間の本質を善と考え、その本質にたち返るべき学問・修養の必要を説いた。孔孟を中心とする学派は儒家と呼ばれて中国思想の中心を占め、わが国にも大きな影響を及ぼした。

論語



孔子 (呉道子筆)

子曰、學而時習之、不亦樂乎。有朋自遠方來、不亦樂乎。人不知、而不愠、不亦君子乎。

- (1) 子 男子の敬称。先生。「論語」では孔子をさす。
 - (2) 時習 おりにふれ復習する。
 - (3) 不亦説乎 「不亦……乎」は強調の語法で、「なんと……ではないか」の意。「説」は悦に同じ。
 - (4) 人不知 他人が自分の真価を知ってくれない。
 - (5) 愠 不平不満をもつ。
- 句法
不亦説乎。(反語)

子曰、學而不思、則罔。思而不學、則殆。

子曰、不憤不啓、不悱不發。舉一隅、不以三隅反、則不復也。

- (6) 罔 物事の道理に暗い。
 - (7) 殆 道理にはずれて危険である。
 - (8) 憤 理解しようと努めながら、理解できずにいらだつ。
 - (9) 悱 ひらく。わからせる。
 - (10) 悱 理解しながらも、ことばに出せずにどこかしがる。
 - (11) 發 助けて、言えるようになる。
 - (12) 一隅 四すみあるものの一すみ。
 - (13) 反 類推して反応する。
 - (14) 不復 二度とはくり返さない。
 - (15) 溫故 過去の事がらや学説を研究する。
 - (16) 曾子 孔子の弟子。名は參、字は子輿。
 - (17) 忠 真心を尽くすこと。
 - (18) 信 言行が一致すること。
 - (19) 習 習熟する。
- 句法
不忠乎。(疑問)
(20) 爲己 自己の修養のために学問をする。
(21) 爲人 世間の人に認められようとして学問をする。

子曰、溫故而知新、可以爲師矣。

曾子曰、吾日三省吾身。爲人謀而不忠乎。與朋友交而不信乎。傳不習乎。

子曰、古之學者爲己、今之學者爲人。

- (15) 溫故 過去の事がらや学説を研究する。
 - (16) 曾子 孔子の弟子。名は參、字は子輿。
 - (17) 忠 真心を尽くすこと。
 - (18) 信 言行が一致すること。
 - (19) 習 習熟する。
- 句法
不忠乎。(疑問)
(20) 爲己 自己の修養のために学問をする。
(21) 爲人 世間の人に認められようとして学問をする。

書名：高等学校新選漢文(上) 古典1乙
 頁碼：38-39
 作者：加藤常賢・前野直彬 / 編
 出版社：尚学図書(東京都)
 出版時間：1977/01/20